

LIVE IN TOKYO

コンサート出演者紹介

RHYTHM FOR CHANGE



十五夜 (ジャズ) 8/10(火)出演

様々な場面で共演をしていた大澤基弘(ds)、寺村容子(pf)、磯部ヒデキ(b)の3名が自然な形で始めたユニットで、2006年に「十五夜」と名乗る。「十五夜」というユニット名は、オリジナルや良く演奏する曲のタイトルに、「月」と「うさぎ」にちなんだものが多いところからつけられた。最近のレパートリーは、メンバーのオリジナル曲が中心となってきたが、スタンダード・ジャズ、ブラジルのポピュラー、日本の古い曲など幅広く演奏している。傾向としては、美しいメロディー系のナンバーを好んでとりあげている。経験豊富なメンバーが自由な発想で演奏を心から楽しんでいる。2008年、横浜ジャズ・フロムナード、台湾の台中ジャズ・フェスティバルなどに出演し好評を得ている。

ごめんね (ソウルジャズ) 8/10(火)出演

後藤輝夫(ts)、橋本信二(g)、西本奈々(ds)
【後藤輝夫プロフィール】

1953年2月19日山形県酒田市に生まれる。あがたりお、今村祐司、寺下誠、南佳孝、吉田美奈子をはじめ加山雄三、ハイファイセット、松山千春、アリス、サザンオールスターズ、郷ひろみ、カルロスチキ、コロク、高中正義、尾崎豊、大橋純子、杉山清貴など、多数の音楽家のツアー及びレコーディングに参加。1995-1998まで、N.Y.在住のベーシスト中村照夫率いるライジングサンバンドのメンバーとして、N.Y. タウンホールや、バードランドに出演。日本ツアーにも同行する。さらに中村氏プロデュースによるハモンド JAZZ の名盤「GOTO」や、ソウルの名曲をカバーした「GO AHEAD」等自己の作品をクラウンレコードからリリースする。「ごめんね」のリーダーである。



岡田嘉満 (ts) 8/11(水)出演

幼少よりピアノ、高校でベース、クラリネットを経て大学からサクソフーンをはじめる。1998年吉祥寺ジャズコンテストにてオーディエンス賞受賞。2001年横浜フロムナードコンペティションにて優秀賞、ライブハウス賞、ベストプレイヤー賞を受賞するなど、受賞歴多数。現在は北関東を中心に都内、神奈川等で演奏活動中。初のリーダーアルバム「SWINGIN」を2006年1月27日発売。 <http://www.geocities.jp/saxokada/>

村田浩 (tp) 8/11(水)出演

1943年横浜市出身。高校、大学では吹奏楽部で活動。卒業後 1967 年プロデビュー。1975 年 2 月に渡辺貞夫(as)オーケストラ、5月に八城一夫(pf)5に参加。そして7月に自己のクインテット「THE BOP BAND」を結成。以降32年間一貫して全国にライブ・コンサート活動を続けており、現在までに約90回のツアー、約5,000回のライブコンサート活動を通じて安定した人気を得ている。この間、ジョン・ルイス(pf)、ジュニア・マンズ(pf)、デューク・ジョーダン(pf)、ロイ・ヘインズ(ds)、リッチー・コール(as)、ヘレン・メリル(vo)、アニタ・オティ(vo)、他内外のトップアーティストと共演多数。また、自身は専門誌の人気投票に常にランクされるなど、個人的にも安定した人気を保っている。過去4枚のリーダーアルバムを発表、いずれも高い評価を得ている。



小島のり子 (fl) 8/11(水)出演

フルートの持つ木管の暖かさ、透明感、伸びやかな音の広がりを大切にしつつも、そこにジャズならではのグルーブ感と力強さを併せ持つつこげんなプレイが持ち味。オリジナル曲も多彩で、2005 年より名酒シリーズのオリジナル曲と日本酒のコラボレーション・ライブを開始。また、童謡やポップスなど、親しみやすいメロディーをジャズ・アレンジしたレパートリーも好評を得ている。リーダー CD は「Easy Come Easy Go」「春の如く」「NORINOTE」に加え、2009年4月に「ラッシュ・ライブ」をリリース。参加 CD は、オルフェのサンバ/平田王子、Degustation A Jazz/菊地成孔、Makin' Music Makin' Love/鈴木桃子 他。 <http://ekimae.net/jazz/kojinori/>



鈴木麻緒 (ds) 8/12(木)出演

神奈川県生まれ。父が音楽好きで家には100枚近くのあらゆるジャンルのレコードがあった。小学6年の時、吹奏楽部でパーカッションを始め、中学、高校とパーカッションに没頭。大学入学後、モダンジャズ研究会に入り、ジャズドラムに転向。卒業後、OLをする傍ら、ジャズドラマー木村由紀夫氏に師事。1998年、会社を退職し、プロ活動開始。現在は都内ライブハウス、レストラン等で活動中。 <http://maochan.net>

楠真紀子 (pf) 8/12(木)出演

1982年、東京都生まれ。5歳よりピアノを習う。2001年4月、尚美学園大学 芸術情報学部 音楽表現学科 ジャズ & ポップスコースに入学し、ジャズを学び始める。四年間ジャズピアノを坪口昌恭氏に師事する。大学在学中よりジャムセッションに参加したり、自己のトリオなどでのライブ活動を行う。卒業後、ジャズピアノを太田寛二氏、クラシックピアノを霧生トシ子氏に師事。現在、首都圏を中心に活動中。



中満ひろみ (vo) 8/12(木)出演

東京学芸大学教育学部音楽科に入学、酒井伊吹子氏、黒田博氏にイタリア古典歌曲、オペラアリア、ドイツリートを師事。クラシックや音楽劇などを学ぶ傍らで大学の軽音楽部に入りバンドでジャズのセッションを重ねる。在学中にジャズギタリスト宮之上貴昭氏の経営していた「きりぎりぶらうん」で初めてのステージを経験。その時の感動が忘れられず大学卒業後はジャズに傾倒、本格的なライブ活動を開始する。都内近郊のライブハウスやジャズクラブ・レストランなどでライブ活動をし、2006年より船橋のGood Time Music School にてボーカル科講師として勤める。同年夏には宮之上貴昭トリオの西日本ツアーに同行、アシスタントをこなしながら各地で飛び入りボーカリストとして演奏に参加。同年より海老原淳子氏にピアノ弾き語りを師事。2008年3月に開催された浅草ジャズコンテストの本選出場を果たし、ボーカル部門にてグランプリを受賞。



伊原康二 (pf) 8/12(木)出演

日本を代表するオルガン奏者。高校一年の頃からピアノを始め、その後独学でオルガンを学ぶ。30代での活躍は国内に留まらず、米国・アジア等にも演奏旅行を行い、NTV「オーケストラ・ハウス」にも出演。伴奏を経験した中には、サラ・ボーン、トニー・ベネット、カサンドラ・ウィルソン、アーネステイン・アンダーソン、ジュニー・エバンス(ドイツ)等も含まれる。エディ・ダニエルズ(cd)、ジョン・ハード(b)、ジミー・スミス(ds)等、演奏家との共演も多い。オルガン、ピアノ、そしてアレンジメントのすべてを極めた伊原康二の集大成のアルバム「JACK IN THE BOX」を2006年12月10日に発売。全曲をアレンジし、日本の静々たるミュージシャンと共演した豪華なアルバムとして好評を博している。



正富一成 (as) 8/12(木)出演

慶應義塾大学在学中よりサクソフーン・プレイヤーとしてジャズ・クラブでの演奏や、ポップス系アーティストのサポート等のプロ活動始める。1993年、クラブ・ジャズ・ユニット「E.M.&I.」でCDデビュー。その後、数多くのセッションやツアー、レコーディング、TV番組の音楽プロデュース等、幅広いフィールドで活動、海外でのコンサートも数多く経験する。現在はリード・アルトを担当するジャズバンド「Sax Fifth Avenue」をはじめ、メイン・ストリーム・ジャズからクラブ・ジャズまで様々なジャンルのバンドで活動。また年間100曲を超えるスタジオ・ワークもこなす。最近では羞恥心「泣かないで」、や里田まい with 合田兄妹「バイバイ」等のヒット曲でもインバクトのあるサクソフーンを披露している。また、演奏活動と平行してヤマハ PMS 講師および指導スタッフとして教材作成および編曲、各種セミナーにも携わっている。

